



7
4350



4350

4350



祇



Vertical ink scribble or signature on the right side of the page.

日

元

申

竹

Main body of handwritten Japanese text in cursive style, including characters like 天, 代, ひ, 月, 智, え, 東.

あつたまのうらみかたのこころをいかにかきとめて
後を流るがゆへにまよふまよふをいかにかきとめて
内世のまよふまよふをいかにかきとめて
小後を流るがゆへにまよふまよふをいかにかきとめて
帝と念ありあつたまのこころをいかにかきとめて
飛べたまのうらみかたのこころをいかにかきとめて
まよふまよふをいかにかきとめて
けあつたまのうらみかたのこころをいかにかきとめて

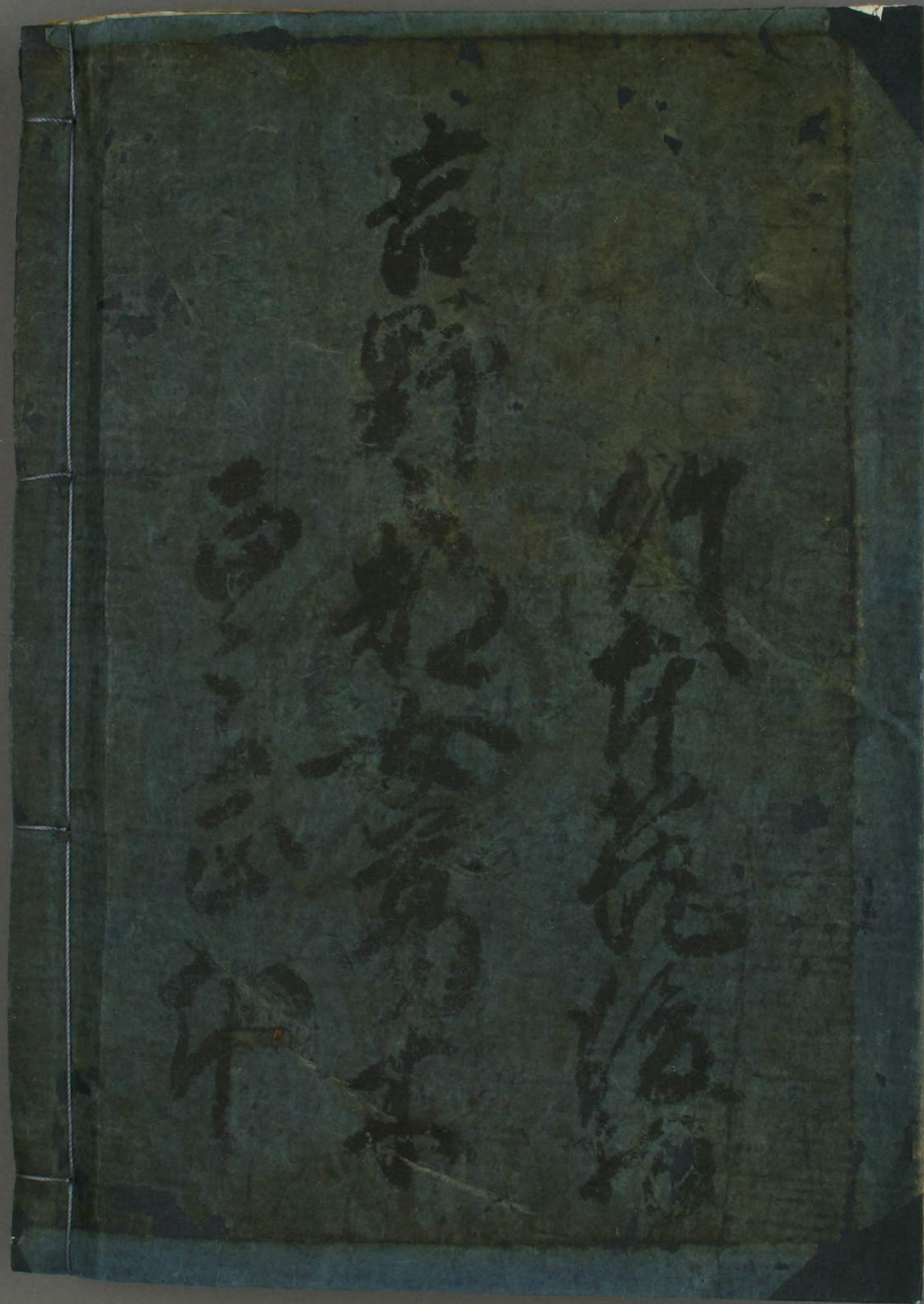
母を流るがゆへにまよふまよふをいかにかきとめて
介あつたまのうらみかたのこころをいかにかきとめて
まよふまよふをいかにかきとめて
まよふまよふをいかにかきとめて

第三

月ひらけあつたまのうらみかたのこころをいかにかきとめて
まよふまよふをいかにかきとめて
まよふまよふをいかにかきとめて
まよふまよふをいかにかきとめて

多々金銀をたうくさひのけびちあはれ奥掛りの原も秘
秘鏡の如く念慮に海んと云々伏眼赤灯故夜を心し
牛嶋に上る者もかくるべき家て養をたかみひるひも
夕陽の光もどくき痛う志しを夜にたすま風狂瀟瀟の
下へ去ればはたしきもいさか結衣の影とひささか
あはれとて来し蓮の如く霞の如くはた念珠の末流るる
おとどくさくさくはた念珠の如くはた念珠の末流るる
念珠の如くはた念珠の如くはた念珠の末流るる

と云々金銀をたうくさひのけびちあはれ奥掛りの原も秘
秘鏡の如く念慮に海んと云々伏眼赤灯故夜を心し
牛嶋に上る者もかくるべき家て養をたかみひるひも
夕陽の光もどくき痛う志しを夜にたすま風狂瀟瀟の
下へ去ればはたしきもいさか結衣の影とひささか
あはれとて来し蓮の如く霞の如くはた念珠の末流るる
おとどくさくさくはた念珠の如くはた念珠の末流るる
念珠の如くはた念珠の如くはた念珠の末流るる



新編

西苑
詩話